

特集 その後どのように暮らしていますか？

空へと視線が抜ける マンションリノベ

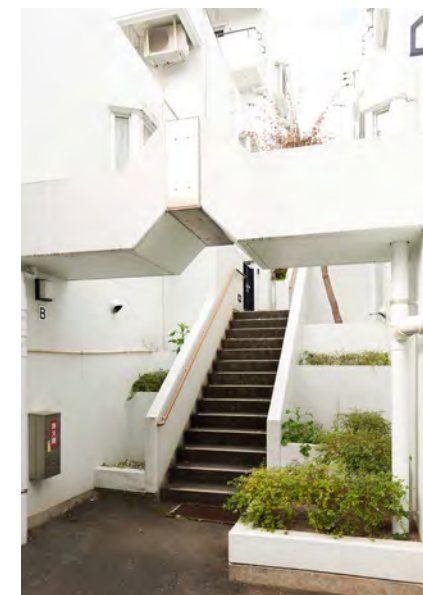




特集 その後どのように暮らしていますか？

空へと視線が抜けるマンションリノベ

埼玉県朝霞市 | マンションリノベーション | I邸(ご夫婦+お子様1人)



天井と床を斜めに貼ったリビング。出窓と合わせて造り付けたテレビボードもポイント。

独立性が高いマンションの造りも購入の決め手に。

1 ストーリー

今回ご紹介するのは、ご夫婦と娘さんの3人でお住まいのI様邸。I様が購入された中古マンションを当社が設計・施工しリノベーションしました。戸建て・マンションを問わず家探しを始めた際に、SNSで知った相羽建設の見学会などに参加。素材感や間取りのコンセプトを気に入り、ご依頼くださいました。I様邸があるのは、埼玉県朝霞市。ご夫妻そ

れぞれの実家に近く、ずっと近隣で暮らしてきたため生活圏を変えずに物件を探しました。ご主人の職場へは1時間ほど掛かりますが「通勤時間で気持ちリセットできます」とご主人。「利便性をそこまで求めてないですし、車に乗って買い物に行くのが家族のイベントになるなら、その方が

いいなと思って。都会の夜景を眺めるより、裏に森がある暮らしの方が私たちはいいですね」。マンションの裏にある大きな公園を「うちのお庭」と娘さんは喜んでいるそう。こだわりが詰まった住まいでの暮らしぶりや設計のポイントを、設計担当の太田礼美とともに伺いました。

2

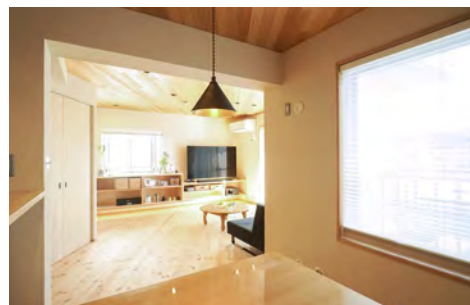
陽だまりと抜けが心地いいLDK

生活の中心は、風と視線が抜けるリビング。大きな窓から陽がたっぷり入り、無垢パイン材や湯布珪藻土などの素材感が優しさを添えます。「リビングを広く取って、キッチンや洗面台なども妥協せずに作ってもらえたので、暮らしていて気分がいいです」とご主人。キッチンからリビングを見ると、広く見えるように貼った斜めのフローリングが、明るい窓の外まで伸びていくように感じるそう。「夜は夜で照明が雰囲気ありますし、居心地がすごくいいです」と奥様もリビングがお気に入りです。設計の裏テーマは、室内の間接照明。ご希望で造り付けたテレビボード下やテレビの裏などに、ご主人が好きなスターウォーズをイメージしてデザインしました。奥様と娘さんが寝た後、間接照明とテレビを付けての晩酌がご主人の楽しみになっています。住まいが広く明るくなったことで、暮らしに余裕が生まれたそう。「窓際にサボテンを飾ってみようとか、楽しみが確実に増えましたね」(ご主人)。春先にはバルコニーのプランターに何を植えようか、家づくりのその後も満喫していらっしゃいます。



光と風がゆらめく窓際。

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 1. フランネルソファでオーダーしたソファが空間にマッチ。2・4. 収納や壁も斜めのラインを生かしてデザイン。3. 栗の円卓で娘さんがお絵かき。5. 太田が選んだダイニングのペンダント照明もお気に入り。 | | |
| 2 | 3 | 4 | 5 |



3

住まいのみどころ



1.子ども部屋は間仕切りすることが可能。2.ダイニングから見えない位置に家電が収まる木製の造作キッチン。3.下足入れも大容量。4.テレビボードに飾られたスターウォーズコレクション。

1
2 3 4

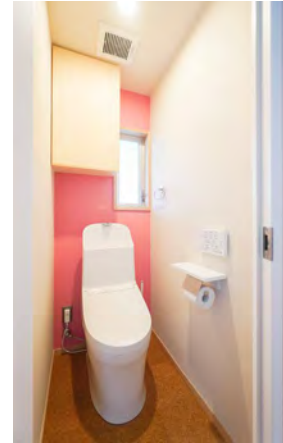
たっぷりの収納で
空間をより広く

3LDKだった間取りを、ゆったりとした2LDKへリノベーション。各所に設けた大きな収納が空間をすっきり保ちます。娘さんにお気に入りの場所を尋ねると「私のお部屋!」という答えが。扉の奥には広い子ども部屋を埋め尽くすほどの絵本やおもちゃが詰まっています。

住まいに 思い出を刻む



施工が始まると、週末に様子を見に来て、我が家ができていく様子を楽しんでいた様。左官が入るタイミングを教えてもらい、家族みんなで壁塗りに挑戦しました。その際に付けた娘さんの小さな手形が、ダイニングの壁にかわいらしく残ります。



左トイレの壁は娘さんが選んだピンクのアクセントクロス。「私が選んだんだよ」と得意げに教えてくれました。中左官ワークショップの様子。右.娘さんの手形は、ダイニングの目立つ場所に。



Before



After



“ゆったりとしたお風呂”という希望を受けて、浴室のサイズもアップ。奥の細かく仕切られた洋室も大きな1室として、全体的にゆとりのある間取りに。またトイレの入口やリビングの収納を斜めにとることで、導線や視線の邪魔をせずに空間を有効活用。リノベーションならではの工夫ですね。

取材後記

設計担当の太田とともに。太田から教えてもらった「竣工後に初めて訪れた際、陽がポカポカ入るリビングで、娘さんが仰向けになってあめんぼのように手足を動かしていた」というエピソードがとてもかわいらしいです。ご協力をありがとうございました!(記:ライター大川)



設計:あいはこ・太田礼美 施工:相羽建設
撮影取材・編集:伊藤・大川・太田・猪股
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



特集 その後どのように暮らしていますか？
リビングが暮らしの中心の
マンションリノベ





アルヴァ・アアルトがデザインした照明「ゴールデンベル」やこだわりの家具、ポスターが自然素材の空間と調和している。

特集 その後どのように暮らしていますか？

リビングが暮らしの中心のマンションリノベ

東京都 杉並区 | マンションリノベーション | A邸(ご夫婦+お子様1人)



1

ストーリー

今回ご紹介するのは、暮らし始めて1年半ほどが経ったA様邸。ご家族が購入された中古マンションを、当社が設計・施工しリノベーションしました。息子さん歩き回るようになり、以前の住まいが手狭になったことから住み替えを計画。次に引っ越すなら自分たちに合う住まいにしたいと、リノベーション用の中古マンションを探しました。決め手になった点を伺うと「ゴミ置場がきれいで、修繕履歴からきちんと手入れされてきたことがわかったので」と奥様。次は設計・施工会社探します。他社にも依頼しましたが、間取りに希望が反映されていなかったり、奇抜だったりしたことから見送ることに。そんな中、知人をきっかけに知った相羽建設のプランは「希望を汲みつつ、広さとほどよい区切りがあって暮らしをイメージできたんですね」とご主人。奥様も「大工さんも自社なので、安心感がありました」と決め手を教えてくださいました。コロナ禍で設計当時とはライフスタイルが変化しましたが、どのように過ごされているのか、現在の暮らしぶりを伺いました。

2

ゆるく区切られた 伸びやかなLDK

友人を自宅に招くことが多いA様。以前は3DKと細かく区切られた間取りでしたが、大人数でも過ごしやすいように、リビングを広くとった1LDK+WIC+ワークスペースへとリノベーションしました。「個室よりも、長く過ごすLDKを広くとりたかったんです」とご主人。こだわった珪藻土の壁に、ご主人の趣味のオーディオや、以前の住まいでも飾っていた絵が映えます。「予算を掛けてでも珪藻土がいいなと思ってできるだけ塗り壁にしました。フラットな中にも照明が当たったところの素材感がいいですし、乾燥する日は水を吹きかけると上手い具合に調湿してくれていいんですよ」（ご主人）。空間の広がりを感じられるよう、リビングダイニングとキッチンとは大きなカウンターで仕切りました。「以前の住まいではキッチンに仕切りがなく、キッチンでいたずらをしてないか心配で目が離せなかったんですけど、今はリビングダイニングから離れたので、子どもと過ごすことが楽になりました」と奥様。下の階は店舗のため、息子さんが走り回っても気兼ねすることなく、のびのびと子育てを楽しんでいらっしゃる様子でした。



廊下の本棚。息子さんの絵本やおもちゃも置いてあります。



1. テレビ裏のワークスペースや窓の外に視線が抜ける。2. 窓にはインナーサッシを付けて快適に。3. 2. 夫妻それぞれの好きなダイニングチェアを購入。4. カウンターは帰宅後の荷物置き場としても活躍。5. 壁にマスキングテープを貼って黒板のように。

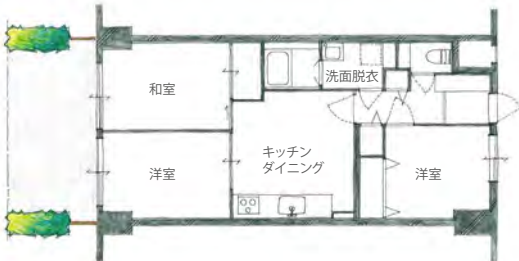


3 住まいのみどころ

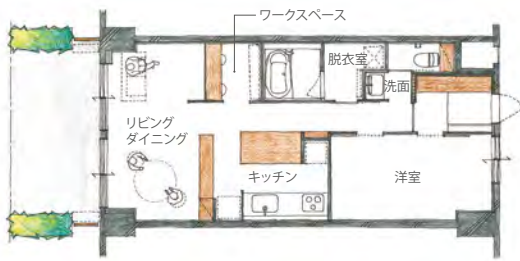
デッドスペースをなくし 空間を有効活用

本棚とキッチンカウンターを設けて“ただの廊下”にしなかったのもポイントです。戸を開け放せば玄関からLDKまで唐松のフローリングが伸び、息子さんの遊ぶスペースに。キッチンと洗面台にはベーシックなタイルを選び、空間のアクセントにしました。

BEFORE



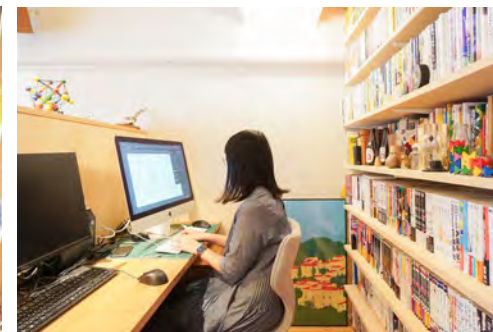
AFTER



3DKから1LDK+ワークスペースに。空間を大きくとり、視線を遮らない低い家具で居場所を緩やかに仕切ること無駄なく広々と使えるように。



1.息子さんが走り回れる廊下。2.第二のテーブルとして機能する大きなキッチンカウンター。
3.靴を脱ぎ履きしやすいよう広くとられた玄関。
4.玄関脇に設けた洗面台がコロナ禍で重宝。



1.LDKと完全に仕切らず圧迫感がないワークスペース。2.コンパクトでも二人並べる幅がある。
3.背後の本棚には、仕事や趣味の本がびっしり。
4.息子さんの気配を感じながら作業できる。



ほどよい距離感の ワークスペース

ご主人が仕事を自宅ですることや、奥様がアクセサリ作りなどが好きなこともあり、LDKの一角に大きな本棚があるワークスペースを設けました。コロナ禍でお二人とも自宅でのテレワークとなり、思いかげずこのスペースが活躍しています。

取材後記

お邪魔した当初は息子さんがバルコニーから様子を伺っていましたが、慣れるとかわいい笑顔を見せてくれました。バルコニーが広いのもA様邸の魅力。外出自粛期間中もバルコニーで遊んだり、キッチンカウンターでパンをつつたりとお家時間を楽しまれたそうです。ご協力ありがとうございました！（記：ライター大川）



設計：あいばこ・中村 施工：相羽建設
撮影取材・編集：伊藤・大川・猪股
ainohaバックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>



特集 木と自然素材で丁寧につくる

リフォームのすゝめ



特集 リフォームのすゝめ②

快適に、永く住もうために

東京都東久留米市 | H邸(一人暮らし)

1 ストーリー

次にご紹介するのは、女性がお一人で暮らす団地のリフォームです。相羽建設の住まい手さんの妹さんがお近くに越してこられることをきっかけに、一室を購入して改修工事を行いました。

ご高齢のため、「あとかかくシンプルな住まいが希望です」とご要望をいただき、ワンルームの様に過ごせる回遊性のあるプランとし、機能面の改善にも重点をおきました。開閉がしづらかった窓は、既存サッシ枠の上から新規枠を取り付けるカバー工法という方法で一新。開閉性だけでなく気密性や遮音性も高めました。また1階であるため、床下からの寒さ対策としてウレタンを吹き付けて断熱。床材もパイン材を採用し、足ざわりが柔らかくなるようにしました。

お引渡しは冬の寒い日だったのですが「足が辛くないですね」とご感想をいただき、ほっとひと安心。



Before(解体後)



1.明るい色味の素材がインテリアを引き立てます。
2.カバー工法によって一新した窓。既存枠を使用するので工期も短い。3.造り付けの大容量収納。4.入居前の様子。窓から見える緑や風が気持ちいい。

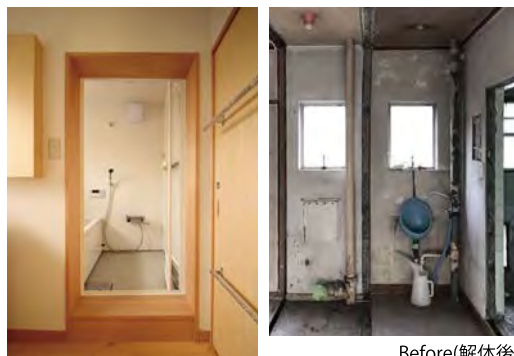
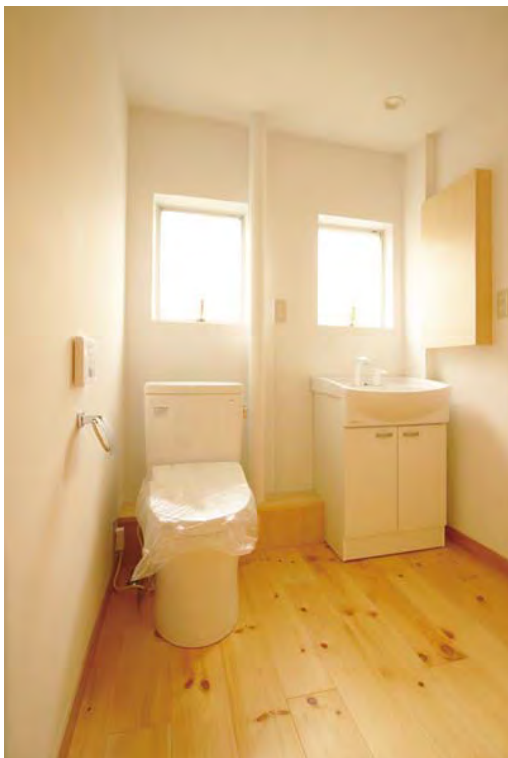


2 住まいのみどころ

快適さがグッと増す 水回りのリフォーム



「動作が楽になるよう脱衣所はなるべく広く」というご要望からトイレと洗面脱衣室を一室にし、広々とした空間に。扉も引き戸にして、よりバリアフリーに近づけました。リフォームによって水回りを一新すると清潔感が増し、暮らしの快適さがグッと向上します。



Before(解体後)

1.トイレと洗面脱衣所を一室に。2.壊れた窓の取手を
木工が木を削って手作り再現。3.浴室の様子。入口
引戸にはタオルハンガーを取り付け。4.以前の様子。



PICK UP

キッチンリフォーム、こんなこともできるんです2

キッチン背面のカウンターは外側のカバーだけを製作し、中身は既製品を採用しました。ダイニング側から見ると周りの素材と馴染んで違和感なく、キッチン側は光沢のあるパネル仕上げなのでお手入れも楽に。コストも抑えることができました。



特集 その後どのように暮らしていますか？

飾って楽しむ！収納いっぱいの暮らし

特集 その後どのように暮らしていますか？

飾って楽しむ！収納いっぱいの暮らし

埼玉県川越市 | マンションリフォーム | T邸(ご夫婦+お子様1人)



料理が得意でよくキッチンに立つご主人

1 ストーリー

今回ご紹介するのは3人家族のT様の住まい。6年ほど賃貸で居住していたマンションの一室をそのまま購入してリフォームをされました。そんなT様に、リフォームのキッカケと現在の暮らしぶりについてお話を伺いました。

「最初は他のエリアへの住み替えも考えましたが、子どもが近くの保育園に通っていたことや、このマンションの見晴らしの良さを気に入っていたこともあり、思い切ってオーナーさんに部屋を購入できないか聞いてみたくです。そしたらOKを頂けて！そこから、子どもが大きくなるまでの10年くらい住み続けられるようなイメージで、リフォームしようと考えました」と奥様。その後OZONEのリノベセミナーに参加した際に相羽建設を知り、『つむじ』^{*}に来場されました。「つむじの3階建てドミノ住宅の小上がりの畳スペースと収納がとても素敵だったので、今の家の畳も小上がりにしたんですよ」とニコリ。



廊下を上げて扉を開けると、明るい日の光とやわらかい木のぬくもりに包まれます。

2

住み続けてきたからこそ 実感できる『暮らしの変化』

「実は以前の間取りからはあまり大きくは変えていないんです。住んできた中で不便に感じていた動線や設備を使いやすくしたかったのと、リビングを広く使いたいというのが私たちのメインの希望でした」。

T様ご家族の要望のもと、食事を運びやすくすることや、家族と会話しながら料理ができるようにキッチンの位置をダイニングテーブルの前に移動。和室を1.5帖分削ることでリビングが広く使えるようになり、小上がりとしたことでちょっと座りたい時にも便利な場所になりました。もともと物置部屋として使っていた洋室は、予算的なことや自分でカスタマイズしたいというT様の想いもあり、ご主人のためのベニヤ板張りのアウトドア風空間に。ゆくゆくは子ども部屋にする予定だそうで、後から変えられる余白をもったアイデアです。

「床は無垢板に張り替えたので、裸足になると気持ち良いです!あとは、シングルガラスの窓に内窓(二重窓/インプラス)を追加したので、以前と比べて夏がすごく涼しくて快適ですよ。あとは家の中から花火が見えるので、みんなで小上がりに腰かけて眺めるのが楽しみなんです」と、笑顔でお話いただきました。

1.ダイニングテーブルは大工さんのつくった家具「大工の手」。
2.趣味の道具がたくさん収納された居室。
3.素敵に暮らすT様ご家族。
4.見晴らしの良い景色。
5.飾るのが楽しいニッチ。

	1	
2	3	5
	4	





3 リフォームのみどころ



1.腰かけられる小上がり。2.段差がなく掃除もしやすい水回り。3.明るい光が入る廊下。4.ゆったり使い勝手の良いLDK。



日々の生活に 寄り添う間取り

壁面いっぱいの収納棚がある室内。目隠しが必要な部分には扉やロールスクリーンをつけ、他は見せる収納に。色々な生活雑貨や趣味の本が並べられていて、見ているだけでワクワクします。キッチンまわりも回遊性があるので、移動が楽なのも嬉しいポイント。

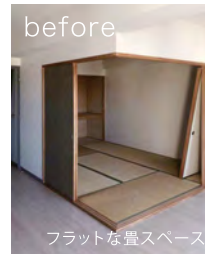
pick up!

スペースを有効活用した収納の工夫!

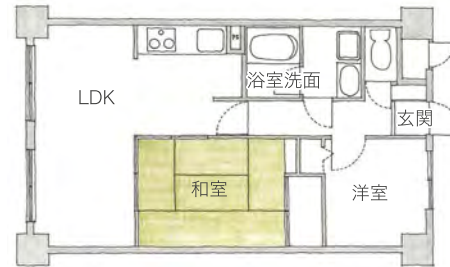
音楽ライブやフェス好きのT様ご夫婦はたくさんのレコードやTシャツコレクションをお持ちでした。そこで飾り棚や小上がり下のスペースを使った収納の工夫で、見た目にもスッキリ保管!

目隠しにも使えるロールスクリーン。

小上がり和室の下は引き出し収納。



before



after



*キッチンの位置を移動し、和室を6帖→4.5帖に削ってリビングを広く。和室は小上がりにし、収納できる造作家具を多めに設置。
*仕様:床…バイン無垢床材(置床) / 壁・天井…AEP塗装 / 窓…既存窓+インプラス(LIXIL)

取材後記

T様のお気に入りの雑貨やコレクションがたくさん飾ってあるのを拝見して、隠す収納も便利で良いけれど、見せる収納も楽しく素敵だなと感じました!日々生活をしながら整理・整頓するのはなかなか大変ですが、だからこそ「あれを飾ろう、こんな工夫をしてみよう」と暮らしの楽しみが生まれるのだと思います。(記:広報 吉川)



設計・施工:相羽建設 / 撮影取材・編集:中村・伊藤・吉川
ainoha/バックナンバー <http://aibaeco.co.jp/100story/life/>

